



暦の上では「立春」を過ぎました。春の訪れを待ちわびる虫や草花は、少しずつ準備を始めています。皆さんもそれぞれの春に向かって、体調を整えて頑張りましょう。図書室でも、皆さんを応援しています。



2月19日 天地の日



この日は、地動説(太陽中心説)の提唱者として知られるポーランドの天文学者、ニコラウス・コペルニクスの誕生日です。彼は、当時主流だった地球の周りを天体が回る「天動説」を覆し、太陽を中心に地球を含めた惑星がその周りを回る「地動説」を唱えた人物です。これは天文学上最も重要な発見とされています。

● 『まんが 発明発見の科学史 科学偉人伝』 ムロタニ・ツネ象：著 くもん出版
“宇宙の謎に挑戦した人たち”の章で、コペルニクスが最初に紹介されています。漫画なのでわかりやすく、入門書に最適です。その後の天文学を受け継いだ偉人ものっています。

● 増補改訂版『眠れなくなる宇宙のはなし』 佐藤勝彦：著 宝島社
第4夜の“天動説から地動説への大転換”で、コペルニクスを含むさまざまな天文学者の説が紹介されています。天文学の歴史はもちろん、人間の宇宙観をふり返ることができます。

● 『星空に魅せられた男 間重富』 鳴海 風：著 くもん出版
間は星を観測する医者、麻田剛立の天文塾で、生涯の友、高橋至時と出会う。西洋天文学を学び、天文機械の研究に没頭し、世界一正確なからくり時計「垂揺球儀」を完成させます。

2月の誕生石 アメシスト(和名：紫水晶) 宝石言葉：心の平和・誠実・高貴

<別名はバックス・ストーン、アメシストがあれば、お酒に酔わない?>

ローマ神話の酒の神・バックス。ある日、彼がいつも連れている獣に最初に会った人間を襲わせようとする。そこへ月の神に仕える美しい少女・アメシストが現れます。獣が襲いかかろうとしたその時、月の神が祈りを捧げ、アメシストを純白の石に変えて助けます。それを見て自分の狂気に気づき、その石にぶどう酒を注ぐと、純白の石が紫色に染まり、輝き出したといわれます。

◆ 『秘密に満ちた魔石館』 廣嶋玲子：作 PHP 研究所
宝石にまつわる8つの物語が収められた短編集です。アメシストの話は、両親のけんかが絶えないことに心を痛めている、インドの貴族の娘アーリヤーが主人公の物語です。

この本、読んでみませんか? (司書 唐津のおすすめ)

『成瀬は都を駆け抜ける』 宮島未奈：著 新潮社



成瀬あかりシリーズの完結編です。我が道を進み続けて、とうとう京都大学まで来た成瀬。今作は大学に入学してから1年間の物語です。謎のサークル「達磨研究会」や簿記 You Tuber など、さらなる個性的なキャラたちが登場します。東京の大学へ行った親友、島崎との友情エピソードもあります。